

## 2014年度第3四半期決算説明会(電話会議)資料

2015年 2月13日 (金)

**MS&AD**

INSURANCE GROUP

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

MS&ADホールディングスの北川でございます。

本日は、お忙しい中、弊社の決算説明電話会議にご参加いただき、ありがとうございます。

# 全体目次

## 2014年度第3四半期決算の概要

グループ連結	資料1-3
国内損害保険会社	資料4-8
国内生命保険会社	資料9-10
海外保険子会社	資料11
2014年度第3四半期実績と2014年度(通期)業績予想	資料12

## 2014年度第3四半期決算データ

三井住友海上(単体)	資料13-15
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料16-18

## <参考> 2014年度業績予想(11月19日発表)

グループ連結	資料19-21
今回業績予想の主な前提	資料22
三井住友海上(単体)	資料23-24
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料25-26
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合計)	資料27-28

## 2014年度第3四半期決算の概要

グループ連結	資料 1-3
国内損害保険会社	資料 4-8
国内生命保険会社	資料 9-10
海外保険子会社	資料 11
2014年度第3四半期実績と2014年度(通期)業績予想	資料 12

## 資料1 グループ連結（2014年度第3四半期）①業績の概要 1

- 正味収入保険料は、国内損害保険会社、海外保険子会社がともに順調に推移し、+4.5%の増収
- 生命保険料は、三井住友海上プライマリー生命の販売が大きく伸びたことに加え、三井住友海上あいおい生命でも増収し、+34.3%の大幅増収

(億円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期		
			前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料) <sup>※</sup>	23,093	24,067	973	4.2%
正味収入保険料 <sup>※</sup>	21,040	21,982	942	4.5%
三井住友海上	10,309	10,788	478	4.6%
あいおいニッセイ同和損保	8,619	8,702	82	1.0%
三井ダイレクト損保	259	254	△ 5	△ 2.0%
海外保険子会社	1,825	2,195	370	20.3%
生命保険料	4,080	5,478	1,398	34.3%

※ 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

### <参考：保険料(グロス収入保険料)>

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期		
			前年同期比	増収率
三井住友海上あいおい生命	3,038	3,215	176	5.8%
三井住友海上プライマリー生命	5,694	7,637	1,943	34.1%

それでは、「2014年度第3四半期決算説明会 電話会議 資料」と題したスライドの1ページ目、「資料1」をご覧ください。

まず、グループのトップラインの状況について説明いたします。

正味収入保険料は、国内損害保険会社が増収していることに加え、海外保険子会社の好調な増収が寄与したことにより、前年同期比で+942億円、4.5%と、順調な増収ペースが続いております。

一方、生命保険料は、三井住友海上プライマリー生命の販売が引き続き好調なことに加え、三井住友海上あいおい生命でも増収となったことから、1,398億円、+34.3%の大幅な増収となりました。

## 資料2 グループ連結（2014年度第3四半期）①業績の概要 2

- ・ 経常利益は、あいおいニッセイ同和損保、三井住友海上、海外保険子会社が寄与し、+569億円増益の 2,940億円
- ・ 四半期純利益は、+470億円増益の 2,066億円
- ・ グループコア利益は、+273億円増益の 1,718億円

(億円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期		
			前年同期比	増減率
経常利益 <sup>※</sup>	2,371	2,940	569	24.0%
三井住友海上	1,242	1,536	294	23.7%
あいおいニッセイ同和損保	598	922	323	54.0%
三井ダイレクト損保	1	△ 13	△ 15	△ 815.1%
三井住友海上あいおい生命	127	122	△ 5	△ 4.1%
三井住友海上プライマリー生命	354	203	△ 150	△ 42.6%
海外保険子会社	251	318	66	26.5%
その他・連結調整等	△ 206	△ 149	56	-
四半期純利益 <sup>※</sup>	1,595	2,066	470	29.5%
三井住友海上	878	1,112	233	26.6%
あいおいニッセイ同和損保	413	821	407	98.6%
三井ダイレクト損保	1	△ 10	△ 11	△ 1,007.3%
三井住友海上あいおい生命	54	52	△ 1	△ 3.0%
三井住友海上プライマリー生命	228	156	△ 71	△ 31.5%
海外保険子会社	193	249	56	29.4%
その他・連結調整等	△ 172	△ 315	△ 142	-
グループコア利益 <sup>※</sup>	1,445	1,718	273	18.9%

※ 子会社の経常利益、四半期純利益は、出資持分ベース。「グループコア利益」の定義は最終ページご参照

次に、「資料2」をご覧ください。

上段のグループ連結の経常利益についてご説明いたします。

グループ連結の経常利益は、前年同期比569億円増益の 2,940億円となりました。

これは、三井住友海上が資産運用損益の増加などにより、294億円の増益となったことや、あいおいニッセイ同和損保が、自動車保険を中心にインカードロスが減少したことなどから、323億円の増益となったことが主な要因です。

グループ連結の純利益は、前年同期比470億円増益の 2,066億円となりました。

また、グループ・コア利益は、前年同期比で273億円増益の、1,718億円となりました。内訳は、国内損保事業 1,174億円、国内生保事業 207億円、海外事業 312億円、金融サービス事業およびリスク関連サービス事業 23億円 となっております。

## 資料3 グループ連結（2014年度第3四半期）②前年同期との比較

- ・国内損保における自然災害影響・異常危険準備金影響を除いた保険引受利益が +493億円の増加
- ・国内損保における資産運用損益・その他が +262億円の増加
- ・国内生保は △156億円の減少、海外保険子会社は +66億円の増加

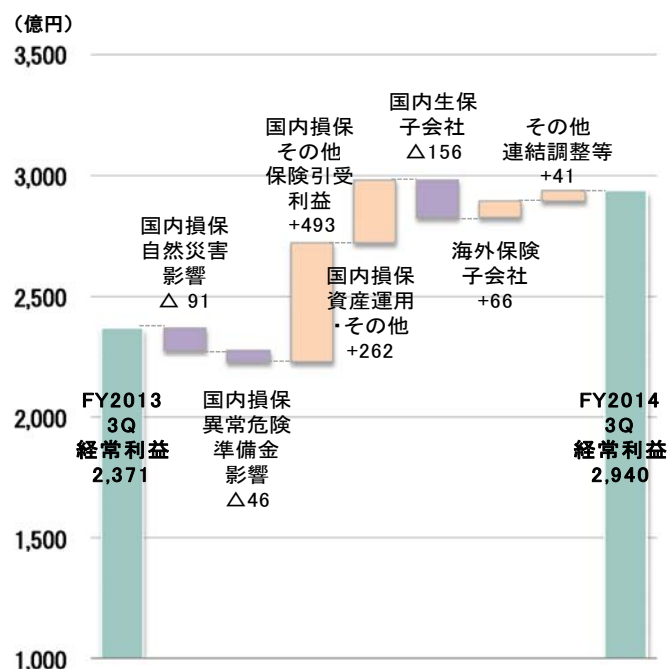
### 連結経常利益の増減要因 (億円)

	2013年度 第3四半期 (a)	2014年度 第3四半期 (b)	差額 (b)-(a)
連結経常利益	2,371	2,940	569
国内損保 <sup>※1</sup> 自然災害に係る影響 <sup>※2</sup>	△ 192	△ 283	△ 91
国内損保 <sup>※1</sup> 異常危険準備金影響	99	52	△ 46
国内損保 <sup>※1</sup> その他保険引受利益	607	1,100	493
国内損保 <sup>※1</sup> 資産運用損益・その他	1,327	1,589	262
国内生保子会社	482	325	△ 156
海外保険子会社	251	318	66
その他連結調整等	△ 204	△ 162	41

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 「自然災害に係る影響」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水(2011年発生)に係るインカドrossの合計

### 【連結経常利益】



次に「資料3」をご覧ください。

連結経常利益について、前年同期からの内訳の増減を説明いたします。

右のグラフにあります通り、国内損害保険会社において、自然災害および異常危険準備金の影響を除いた保険引受利益が493億円、資産運用損益・その他が262億円改善したことが、連結経常利益を押し上げました。

また、海外保険子会社も66億円の増益要因となっています。

一方、マイナスの項目としては、国内損害保険会社において、2011年のタイ洪水や昨年2月の大雪も含めた自然災害の影響が91億円、異常危険準備金の影響が46億円の減少要因となっております。

また、国内生保子会社も、156億円の減少要因となっております。

## 資料4 国内損害保険会社（2014年度第3四半期）①主要2社の業績概要 1

- ・ 正味収入保険料は、自動車保険、火災保険、新種保険を中心に、2社合計で+3.0%、+561億円の増収
- ・ 保険引受利益は、増収効果とインカードロスの減少から、2社合計で +355億円の増加

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		＜ご参考＞2社合計(単純合計)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
	(億円)					
正味収入保険料	10,788	478	8,702	82	19,490	561
正味収入保険料 増収率	4.6%	△ 0.6pt	1.0%	△ 2.9pt	3.0%	△ 1.6pt
正味支払保険金	(-) 6,083	△ 97	5,135	△ 29	11,219	△ 127
＜インカードロス(除く損害調査費)＞	(-) 6,060	22	4,964	△ 240	11,025	△ 218
諸手数料及び集金費	(-) 1,896	111	1,626	73	3,523	185
営業費及び一般管理費(保険引受)	(-) 1,529	41	1,420	24	2,949	65
普通責任準備金繰入額	(-) 314	165	25	19	340	185
異常危険準備金反映前保険引受利益	477	183	339	217	816	401
異常危険準備金戻入額	△ 90	△ 168	142	121	52	△ 46
<b>保険引受利益</b>	<b>386</b>	<b>15</b>	<b>482</b>	<b>339</b>	<b>869</b>	<b>355</b>
<b>諸比率</b>						
正味損害率	62.1%	△ 3.6pt	63.8%	△ 0.7pt	62.9%	△ 2.3pt
正味事業費率	31.8%	0.0pt	35.0%	0.8pt	33.2%	0.3pt
<b>コンバインド・レシオ</b>	<b>93.9%</b>	<b>△ 3.6pt</b>	<b>98.8%</b>	<b>0.1pt</b>	<b>96.1%</b>	<b>△ 2.0pt</b>
<b>＜除く家計地震・自賠責＞</b>						
正味損害率	59.1%	△ 3.6pt	60.8%	△ 0.3pt	59.8%	△ 2.2pt
正味事業費率	33.8%	0.1pt	37.0%	0.9pt	35.2%	0.4pt
<b>コンバインド・レシオ</b>	<b>92.9%</b>	<b>△ 3.5pt</b>	<b>97.8%</b>	<b>0.6pt</b>	<b>95.0%</b>	<b>△ 1.8pt</b>

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

次に、国内損害保険会社の状況について、主要2社合計でご説明いたします。  
「資料4」をご覧ください。

まず、正味収入保険料は、2社ともに料率改定効果のあった自動車保険や自賠責保険が増収したことに加え、火災保険や新種保険も好調に伸びており、2社合計で前年同期比+561億円、3.0%の順調な増収となりました。

次にインカードロスは、自動車保険を中心に減少し、2社合計で前年同期比218億円の減少となりました。なお、三井住友海上のインカードロスが前年同期比増加していますが、これは、昨年度実績に含まれていたタイ洪水に係るマイナスのインカードロスが、今年度はほぼなくなったことが影響しています。

また、2社合計の保険引受利益は、前年同期から355億円増加し、869億円と大きく改善しています。

## 資料5 国内損害保険会社（2014年度第3四半期）①主要2社の業績概要 2

- ・ 資産運用・その他収支は、有価証券売却損益の増加を主因に、2社合計で +262億円の増加
- ・ 四半期純利益は、2社合計で +641億円増益の 1,933億円

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		＜ご参考＞2社合計(単純合計)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険引受利益	386	15	482	339	869	355
ネット利息及び配当金収入	595	3	310	△ 50	905	△ 47
有価証券売却損益	543	207	180	21	724	229
有価証券評価損 (－)	36	21	1	△ 20	38	1
資産運用・その他収支	1,150	279	439	△ 16	1,589	262
経常利益	1,536	294	922	323	2,459	617
特別損益	2	28	227	238	230	266
税引前四半期純利益	1,539	322	1,149	561	2,689	884
四半期純利益	1,112	233	821	407	1,933	641

次に、「資料5」をご覧ください。

資産運用については、有価証券売却損益が増加したことを主因に、資産運用とその他収支の合計は、前年同期比+262億円の1,589億円となりました。

なお、政策株式につきましては、2社合計で、620億円を売却しております。

以上の結果、国内損害保険主要2社合計の経常利益は、前年同期比617億円増益の2,459億円、四半期純利益は、前年同期比641億円増益の1,933億円となっております。

なお、2社合計の特別損益230億円には、弊社グループの機能別再編に伴う特別利益274億円を含んでおりますが、この部分につきましては、グループ内部の取引であり、連結上は消去されます。



## 資料6 国内損害保険会社（2014年度第3四半期）②自然災害の影響

- ・ 自然災害に係る支払保険金は、2月の大雪に係る支払いが順調に進捗したことから、+318億円増加の 897億円
- ・ 自然災害に係るインカードロスは、当年度発生国内自然災害が減少したものの、タイ洪水の損害に係るインカードロスの減少が前年同期比で縮小したことにより、+91億円増加の 281億円

### 国内自然災害・2月の大雪およびタイ洪水の影響

(億円)

	支払保険金		支払備金積増額		インカードロス		支払備金残高
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
当年度発生国内自然災害	209	△ 49	72	△ 28	281	△ 77	72
三井住友海上	124	△ 21	47	△ 26	172	△ 47	47
あいおいニッセイ同和損保	84	△ 28	24	△ 1	109	△ 29	24
2014年2月大雪による損害	622	622	△ 594	△ 594	27	27	43
三井住友海上	371	371	△ 355	△ 355	16	16	12
あいおいニッセイ同和損保	250	250	△ 238	△ 238	11	11	30
タイ洪水(2011年度発生)	65	△ 254	△ 93	396	△ 27	141	121
三井住友海上	60	△ 210	△ 85	335	△ 24	124	105
あいおいニッセイ同和損保	1	△ 30	△ 2	47	△ 1	16	6
海外保険子会社	3	△ 13	△ 6	13	△ 2	0	8
合 計	897	318	△ 615	△ 226	281	91	236

次に、自然災害の影響を説明いたします。「資料6」をご覧ください。

自然災害に係る支払保険金は、昨年度に発生した「国内自然災害」と、昨年2月に発生した大雪、および2011年度に発生した「タイ洪水」の影響を合計いたしますと、一番下の行にありますように、前年同期比で318億円増加の、897億円となりました。

これは、昨年2月の大雪に係る損害の支払いが順調に進捗したことが主な要因です。

また、自然災害に係るインカードロスの合計は、91億円増加しました。

これは、当年度発生国内自然災害については前年同期比で減少したものの、先ほど資料4の説明で触れましたように、タイ洪水に係る損害について、昨年度、損害調査の進展により発生したマイナスのインカードロスがほぼなくなったことによるものです。



## 資料7 国内損害保険会社（2014年度第3四半期）③異常危険準備金

- ・ 2社合計のネット増減額は、52億円の減少となり、前年同期比 +46億円増加（取崩益が減少）
- ・ 三井住友海上では、損害率改善と増収効果により、ネット増減額は、前年同期比+168億円の90億円
- ・ あいおいニッセイ同和損保では、昨年2月の大雪の保険金支払を主因に、ネット増減額は、前年同期比△121億円の△142億円

### 異常危険準備金

(億円)

		取崩額	繰入額	ネット増減額		残高
					前年同期比	
三井住友海上	火災	208	147	△ 61	12	943
	海上	-	21	21	2	715
	傷害	43	34	△ 8	30	612
	自動車	93	150	56	99	251
	その他	2	84	81	23	1,551
	合計	<b>348</b>	<b>438</b>	<b>90</b>	<b>168</b>	<b>4,075</b>
あいおいニッセイ 同和損保	火災	221	83	△ 138	△ 119	906
	海上	1	0	△ 0	△ 4	137
	傷害	-	16	16	△ 0	606
	自動車	212	161	△ 51	△ 3	161
	その他	10	41	31	7	536
	合計	<b>445</b>	<b>303</b>	<b>△ 142</b>	<b>△ 121</b>	<b>2,348</b>
2社合計 (単純合計)	火災	430	230	△ 200	△ 106	1,850
	海上	1	22	21	△ 2	853
	傷害	43	51	8	29	1,219
	自動車	306	311	5	95	412
	その他	13	125	112	30	2,088
	合計	<b>794</b>	<b>741</b>	<b>△ 52</b>	<b>46</b>	<b>6,424</b>

次に、「資料7」をご覧ください。異常危険準備金の状況を説明いたします。

異常危険準備金のネット増減額は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の2社合計の全種目合計で、一番下の行にあります通り、52億円の取崩しとなっておりますが、前年同期比では取崩し額が46億円減少しました。

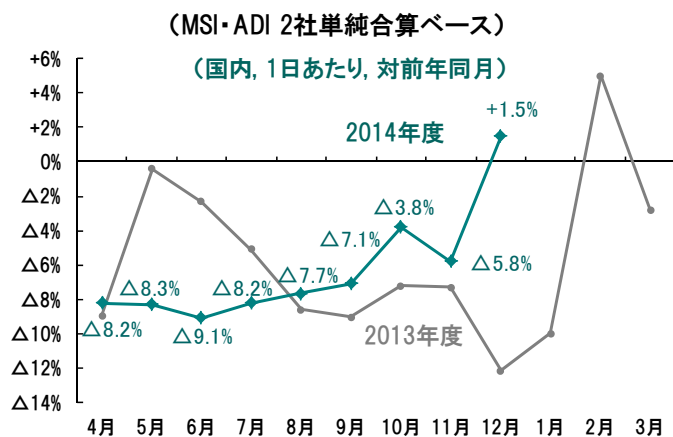
会社別には、三井住友海上において、損害率が改善したことにより自動車保険を中心に取崩額が減少したことに加え、正味収入保険料の増収の効果により、ネット増減額が前年同期比で168億円増加しました。

一方、あいおいニッセイ同和損保では、昨年2月の大雪に係る保険金支払いの影響で、火災保険を中心に取崩額が増加し、ネット増減額は前年同期比で△121億円になっています。

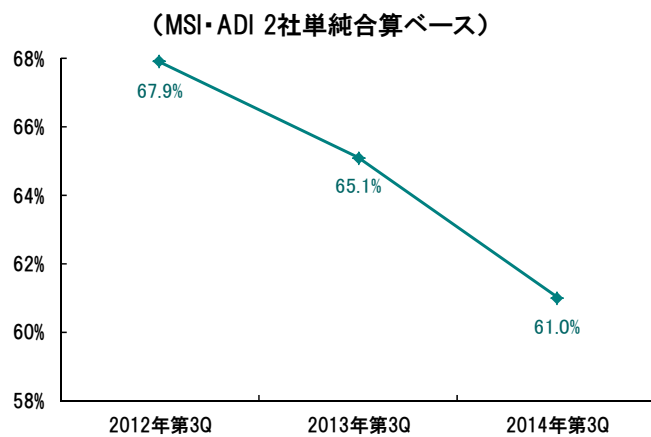
## 資料8 国内損害保険会社（2014年度第3四半期）④自動車保険の状況

- ・ 事故件数は、減少が縮小傾向だが、総体として低水準で推移したことに加え、保険料の増収効果などにより、EI損害率は改善
- ・ 保険金単価は、消費税率引き上げの影響もあり、引き続き上昇傾向

### 事故件数の推移（除く自然災害、2月大雪等の雪害を含む）



### EI 損害率の推移（含む損害調査費）



### 保険料・保険金

#### 三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.3%	+3.2%	+3.6%
<国内>	対物	車両 (除く自然災害)	
保険金単価増減	+1.6%	+6.2%	

#### あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	△1.0%	+2.8%	+1.7%
<国内>	対物	車両 (除く自然災害)	
保険金単価増減	+4.2%	+4.7%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース(4-12月)の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2014年3月末までの1年間の保険金単価に対する、2014年12月末までの1年間の保険金単価の増減を表示

※ 車両保険(除く自然災害)の保険金単価には、2014年2月大雪等の雪害を含む ※EI損害率算出対象期間は、各年度の4-12月

次に「資料8」をご覧ください。自動車保険の状況を説明いたします。

上段左の折れ線グラフは、自動車保険の事故件数増減を示しております。

事故件数は、前年同月比での減少幅が徐々に縮小してきており、12月は、前年の12月を若干上回っております。これは、2012年10月に実施したノンフリート等級制度改定がほぼ一巡したことに加え、昨年(2014年)12月の降雪量が多かったことの影響があったと見ております。

次に、下段にある「保険料の増減要因」の表をご覧ください。

保険料単価は、三井住友海上が+3.2%、あいおいニッセイ同和損保が+2.8%と上昇しており、これまでの料率改定を含めた商品改定の効果が、引き続き出ています。

このような状況のもと、EI損害率は、上段右のグラフの通り、順調に改善してまいりました。

一方、対物および車両に対する保険金単価は、このスライドの一番下にありますように、2社ともに上昇しておりますが、これは、昨年4月からの消費税率引き上げが徐々に織り込まれてきたことに加え、従来からの修理費上昇が続いていることによるものと見ており、引き続き注視をしてまいりたいと考えております。

## 資料9 国内生命保険会社(三井住友海上あいおい生命) 2014年度第3四半期業績概要

- ・新契約高は、収入保障保険の減少などにより、△9.1% 減少
- ・新契約年換算保険料は、第三分野商品の販売が好調だったことから、+10.1% 増加
- ・四半期純利益は、前年同期並みの 52億円

### 三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2013年度 第3四半期		2014年度 第3四半期	
			前年同期比	増減率
新契約高 (個人合計)	20,120	<b>18,293</b>	△ 1,827	△ 9.1%
新契約年換算保険料	305	<b>335</b>	30	10.1%
うち 第三分野	70	<b>108</b>	37	53.4%
保有契約高 (個人合計)	(期首) 211,050	<b>216,716</b>	(期首比) 5,666	2.7%
保有契約年換算保険料	(期首) 3,358	<b>3,498</b>	(期首比) 139	4.2%
うち 第三分野	(期首) 611	<b>681</b>	(期首比) 69	11.3%
保険料(グロス収入保険料)	3,038	<b>3,215</b>	176	5.8%
経常利益	127	<b>122</b>	△ 5	△ 4.1%
四半期純利益	54	<b>52</b>	△ 1	△ 3.0%
基礎利益	116	<b>128</b>	12	10.7%

次に三井住友海上あいおい生命の状況について説明します。「資料9」をご覧ください。

新契約高は、収入保障保険の減少などにより、前年同期比9.1%の減少となりましたが、新契約年換算保険料は、第3分野商品「新医療保険A(エース)」の販売が引き続き好調だったことにより、前年同期比10.1%の増収となりました。

また、保有契約高は、期首比 2.7%の増加、保有契約年換算保険料は、同じく4.2%の増加となり、順調に成長しております。

一方、四半期純利益は、保険料が増収したことに伴って、責任準備金の繰入と代理店手数料も増加し、ほぼ前年同期並みの52億円となりました。

## 資料10 国内生命保険会社(三井住友海上プライマリー生命) 2014年度第3四半期業績概要

- ・ 保険料は、定額終身保険、変額終身保険の販売がともに順調に伸び、+34.1% 増収の 7,637億円
- ・ 四半期純利益は、豪ドル金利の大幅な低下に伴い、外貨建商品に係る責任準備金負担が拡大したことから、△71億円 減益の 156億円

### 三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
新契約高 (個人合計)	5,485	<b>7,446</b>	1,961	35.8%
保有契約高 (個人合計)	(期首) 40,243	<b>44,578</b>	(期首比) 4,334	10.8%
保険料(グロス収入保険料)	5,694	<b>7,637</b>	1,943	34.1%
経常利益	354	<b>203</b>	△ 150	△ 42.6%
四半期純利益	228	<b>156</b>	△ 71	△ 31.5%
基礎利益	471	<b>△ 67</b>	△ 538	△ 114.3%

続いて三井住友海上プライマリー生命の業績をご説明します。「資料10」をご覧ください。

プライマリー生命では、外貨建定額終身保険の販売が引き続き堅調であることに加え、昨年度発売した変額終身保険が販売を伸ばしたことから、グロス収入保険料は 34.1% 増収の7,637億円となりました。

保有契約高は、円安の影響で外貨建定額商品において解約が増加しましたが、先ほど申し上げたように販売が好調だったことに加え、市場環境がおおむね良好に推移したことを反映して、期首比 10.8%増加の 4兆4,578億円となっております。

一方、四半期純利益は、オーストラリアドルの金利低下を反映して責任準備金の積立負担が拡大したことなどから、71億円減益の 156億円となっております。

## 資料11 海外保険子会社（2014年度第3四半期）業績概要

- ・ 正味収入保険料は、全地域および再保険において現地通貨ベースで増収。為替影響（+144億円）、新規連結効果（+96億円）も含めて+20.3%の増収
- ・ 四半期純利益は、+56億円増益の 249億円

### 海外保険子会社

（億円）

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
正味収入保険料	1,825	2,195	370	20.3%
アジア*	892	1,105	213	23.9%
欧州	508	606	97	19.2%
米州	270	310	39	14.8%
再保険	153	173	19	12.6%
四半期純利益	193	249	56	29.4%
アジア*	76	135	58	75.8%
欧州	40	37	△ 2	△ 6.9%
米州	12	8	△ 4	△ 34.8%
再保険	63	69	5	8.5%

※ 2014年度のアジアには、新規連結のあいおいニッセイ同和損保 オーストラリア現地法人の影響を含む。

次に海外保険子会社の状況について説明いたします。「資料11」をご覧ください。

正味収入保険料は、全体で20.3%増収の、2,195億円となりました。ここには、為替影響として144億円、新規連結効果96億円を含んでおりますが、それらを除いても、全ての地域において、現地通貨ベースで増収しております。

四半期純利益については、アジアにおける増益が貢献し、前年同期比 +56億円の249億円となりました。

## 資料12 2014年度第3四半期実績と2014年度(通期)業績予想

(億円)

	2014年度第2四半期		2014年度第3四半期		2014年度(通期)業績予想※1	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
正味収入保険料※2	14,863	621	21,982	942	29,350	1,254
保険引受利益						
三井住友海上	285	△ 25	386	15	60	133
あいおいニッセイ同和損保	392	284	482	339	180	468
資産運用損益						
三井住友海上	443	△ 221	1,175	188	1,292	40
あいおいニッセイ同和損保	169	△ 106	431	△ 4	346	△ 184
経常利益	1,580	△ 50	2,940	569	2,300	397
三井住友海上	712	△ 161	1,536	294	1,300	280
あいおいニッセイ同和損保	573	172	922	323	530	251
当期純利益	1,096	1	2,066	470	※3 1,200	265
三井住友海上	505	△ 98	1,112	233	780	199
あいおいニッセイ同和損保	465	182	821	407	390	258

※1 2014年11月発表の2014年度業績予想数値(数値の修正はありません)

※2 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※3 法人税率引き下げの影響は含んでいない。

次に第3四半期実績と通期の業績予想について説明いたします。「資料12」をご覧ください。

通期の業績予想については修正を行っておりませんが、1月～3月に算入しているトピックスと全体の方向性についてご説明します。

正味収入保険料は、ご覧の通り順調な増収をしており、業績予想のオンラインと考えています。

保険引受利益については、期末に異常危険準備金の追加繰入を300億円予定しているほか、事業費やインカードロスが比較的多い例年の第4四半期の傾向を織り込んでいます。なお、インカードロスについては予想の範囲内で進捗していると認識しています。

資産運用損益については価格変動準備金の追加繰入に対応した売却益を確保することとしていましたが、概ね第3四半期末で実現できています。また、それ以外の売却益なども株式市場が想定より高い水準で推移しており好調に推移しています。

当期純利益については、期末において法人税率変更の影響、現在の推計では、利益に対し270億円のマイナス影響を想定していますが、良好なインカードロスの状況や好調な資産運用損益を勘案すると、かなりの部分はカバーされると考えており、業績予想は修正しておりません。

## 2014年度第3四半期決算 データ

---

三井住友海上(単体)

資料13-15

あいおいニッセイ同和損保(単体)

資料16-18

次ページ「資料13」から「資料18」まで、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の2社について、単体の2014年度第3四半期業績を付けております。後ほどご覧ください。

また、「資料19」以降に、昨年11月19日に発表いたしました、2014年度業績予想の資料を、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保単体の業績予想の詳細、および、2社単体の単純合算の資料と併せて付けております。こちらにつきましては、特に数値に変更はございません。

以上で、私からのご説明を終わります。



## 資料13 三井住友海上（単体）2014年度第3四半期業績 ①

（億円）

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	10,309	10,788	478
正味収入保険料 増収率	5.2%	4.6%	△0.6pt
正味損害率	65.7%	62.1%	△3.6pt
正味事業費率	31.8%	31.8%	0.0pt
コンバインド・レシオ	97.5%	93.9%	△3.6pt
インカードロス(除く損害調査費)	6,038	6,060	22
保険引受利益	371	386	15
ネット利息及び配当金収入	592	595	3
有価証券売却損益	335	543	207
有価証券評価損	△15	△36	△21
資産運用損益	986	1,175	188
経常利益	1,242	1,536	294
特別損益	△25	2	28
四半期純利益	878	1,112	233
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	4.7%	4.7%	0.0pt
正味損害率	62.7%	59.1%	△3.6pt
正味事業費率	33.7%	33.8%	0.1pt
コンバインド・レシオ	96.4%	92.9%	△3.5pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## 資料14 三井住友海上（単体）2014年度第3四半期業績 ②

### 正味収入保険料 (億円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	増収率
火災	1,518	1,620	6.7%
海上	431	486	12.6%
傷害	1,068	1,102	3.2%
自動車	4,561	4,698	3.0%
自賠責	1,289	1,343	4.2%
その他	1,439	1,537	6.8%
合計	10,309	10,788	4.6%
除く家計地震・自賠責	9,014	9,439	4.7%

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

### 正味損害率

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	前年同期比
火災	73.2%	73.9%	0.7pt
海上	58.8%	46.9%	△11.9pt
傷害	62.7%	59.7%	△3.0pt
自動車	64.0%	59.6%	△4.4pt
自賠責	87.0%	83.6%	△3.4pt
その他	48.4%	45.3%	△3.1pt
合計	65.7%	62.1%	△3.6pt
除く家計地震・自賠責	62.7%	59.1%	△3.6pt

## 資料15 三井住友海上(単体) 2014年度第3四半期業績 ③

### インカードロスとEI損害率 (含む損害調査費)

(億円)

	2013年度第3四半期					2014年度第3四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	EI損害率	自然災害影響 (b)	(a)-(b)	EI損害率 (除く自然災害影響)	インカードロス (c)	EI損害率	自然災害影響 (d)	(c)-(d)	EI損害率 (除く自然災害影響)	
火災 (除く家計地震)	783	54.6%	19	763	53.2%	932	62.6%	130	801	53.9%	0.7pt
海上	283	64.7%	3	279	63.9%	232	49.4%	1	231	49.1%	△14.8pt
傷害	677	64.4%	△0	677	64.4%	653	59.8%	1	652	59.7%	△4.7pt
自動車	2,959	65.6%	27	2,931	65.0%	2,881	61.7%	12	2,868	61.4%	△3.6pt
その他	799	58.0%	20	779	56.6%	862	59.4%	19	842	58.0%	1.4pt
合計(A)	5,502	62.4%	71	5,431	61.6%	5,562	60.6%	164	5,397	58.8%	△2.8pt
家計地震(B)	—		—	—		—		—	—		
自賠償(C)	1,129		—	1,129		1,119		—	1,119		
合計(A)+(B)+(C)	6,632		71	6,561		6,681		164	6,516		

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※EI損害率の分母となるアーンド(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠償

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生) およびタイ洪水に係るインカードロスの合計

## 資料16 あいおいニッセイ同和損保(単体) 2014年度第3四半期業績 ①

(億円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	8,619	8,702	82
正味収入保険料 増収率	3.9%	1.0%	△2.9pt
正味損害率	64.5%	63.8%	△0.7pt
正味事業費率	34.2%	35.0%	0.8pt
コンバインド・レシオ	98.7%	98.8%	0.1pt
インカードロス(除く損害調査費)	5,205	4,964	△240
保険引受利益	142	482	339
ネット利息及び配当金収入	360	310	△50
有価証券売却損益	159	180	21
有価証券評価損	△22	△1	20
資産運用損益	436	431	△4
経常利益	598	922	323
特別損益	△10	227	238
四半期純利益	413	821	407
〈除く家計地震・自賠償〉			
正味収入保険料 増収率	3.5%	0.7%	△2.8pt
正味損害率	61.1%	60.8%	△0.3pt
正味事業費率	36.1%	37.0%	0.9pt
コンバインド・レシオ	97.2%	97.8%	0.6pt

## 資料17 あいおいニッセイ同和損保（単体）2014年度第3四半期業績 ②

	2013年度	2014年度	増収率
	第3四半期	第3四半期	
火災	997	1,030	3.3%
海上	83	63	△23.4%
傷害	561	533	△5.0%
自動車	4,968	5,008	0.8%
自賠責	1,222	1,253	2.5%
その他	786	813	3.4%
合計	8,619	8,702	1.0%
除く家計地震・自賠責	7,392	7,445	0.7%

	2013年度	2014年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期	
火災	63.1%	75.7%	12.6pt
海上	53.6%	59.8%	6.2pt
傷害	48.9%	49.6%	0.7pt
自動車	63.0%	60.0%	△3.0pt
自賠責	85.3%	82.1%	△3.2pt
その他	55.7%	53.8%	△1.9pt
合計	64.5%	63.8%	△0.7pt
除く家計地震・自賠責	61.1%	60.8%	△0.3pt

## 資料18 あいおいニッセイ同和損保（単体）2014年度第3四半期業績 ③

### インカードロスとEI損害率（含む損害調査費） (億円)

	2013年度第3四半期					2014年度第3四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	EI損害率	自然災害影響 (b)	(a)-(b)	EI損害率 (除く自然災害影響)	インカードロス (c)	EI損害率	自然災害影響 (d)	(c)-(d)	EI損害率 (除く自然災害影響)	
火災 (除く家計地震)	578	54.7%	85	493	46.6%	590	54.4%	94	496	45.7%	△0.9pt
海上	43	54.8%	—	43	54.8%	37	48.0%	—	37	48.0%	△6.8pt
傷害	273	53.5%	0	273	53.5%	251	49.7%	0	250	49.7%	△3.8pt
自動車	3,163	64.7%	27	3,135	64.1%	2,989	60.4%	14	2,975	60.1%	△4.0pt
その他	493	65.6%	7	485	64.6%	492	61.9%	10	482	60.7%	△3.9pt
合計 (A)	4,553	62.4%	121	4,431	60.8%	4,361	58.8%	119	4,241	57.2%	△3.6pt
家計地震 (B)	—	/	—	—	/	—	/	—	—	/	/
自賠責 (C)	1,046	/	—	1,046	/	1,021	/	—	1,021	/	/
合計(A)+(B)+(C)	5,599	/	121	5,478	/	5,382	/	119	5,263	/	/

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料、保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠責

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水に係るインカードロスの合計

以降のスライドに、2014年度業績  
予想(2014年11月19日発表)の  
資料を掲載しています。

## <ご参考> 2014年度業績予想 (11月19日発表)

グループ連結	資料19-21
今回業績予想の主な前提	資料22
三井住友海上(単体)	資料23-24
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料25-26
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合計)	資料27-28

### 資料19 グループ連結 2014年度業績予想 ①

2014年度業績予想  
(2014.11.19 発表)内容

(億円)

	2013年度	2014年度 (年初予想)	2014年度(予想)			
			前期比	前期比増減率	年初予想比	
正味収入保険料 ※	28,095	29,250	<b>29,350</b>	1,254	4.5%	100
三井住友海上	13,845	14,330	<b>14,420</b>	574	4.2%	90
あいおいニッセイ同和損保	11,446	11,560	<b>11,560</b>	113	1.0%	-
三井ダイレクト損保	355	362	<b>356</b>	0	0.0%	△ 6
海外保険子会社	2,406	2,940	<b>2,940</b>	533	22.2%	-
生命保険料	6,789	6,310	<b>9,060</b>	2,270	33.4%	2,750

※ 正味収入保険料は、自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

#### <参考：保険料（グロス収入保険料）>

	2013年度	2014年度 (年初予想)	2014年度(予想)			
			前期比	前期比増減率	年初予想比	
三井住友海上あいおい生命	4,167	4,453	<b>4,396</b>	228	5.5%	△ 57
三井住友海上プライマリー生命	8,264	5,000	<b>8,500</b>	235	2.9%	3,500

## 資料20 グループ連結 2014年度業績予想 ②

2014年度業績予想  
(2014.11.19 発表)内容

(億円)

	2013年度	2014年度 (年初予想)	2014年度(予想)		
			前期比	年初予想比	
経常利益	1,902	1,500	2,300	397	800
三井住友海上	1,019	790	1,300	280	510
あいおいニッセイ同和損保	278	270	530	251	260
当期純利益 ※	934	1,000	1,200	265	200
三井住友海上	580	620	780	199	160
あいおいニッセイ同和損保	131	340	390	258	50
三井ダイレクト損保	1	1	△ 12	△ 13	△ 13
三井住友海上あいおい生命	66	10	20	△ 46	10
三井住友海上プライマリー生命	179	120	120	△ 59	-
海外保険子会社	199	240	280	80	40
その他・連結調整等	△ 224	△ 331	△ 378	△ 154	△ 47

※子会社の当期純利益は、出資持分ベース

## 資料21 グループ連結 2014年度業績予想 ③

2014年度業績予想  
(2014.11.19 発表)内容

(億円)

	2013年度	2014年度 (年初予想)	2014年度(予想)		
			前期比	年初予想比	
グループコア利益	948	1,000	1,200	251	200
国内損保事業	478	610	760	281	150
国内生保事業	244	130	140	△ 104	10
海外事業	180	220	250	69	30
金融サービス事業/リスク関連事業	44	40	50	5	10
その他の事業数値					
コンバインドレシオ (国内損保)	98.2%	100.0%	98.1%	△ 0.1pt	△ 1.9pt
MS A生命EV増加額	916	430	650	△ 267	220
グループROE	4.5%	4.5%	5.2%	0.7pt	0.7pt

※ 「グループコア利益」、「グループROE」の定義は最終ページをご参照下さい。

	三井住友海上	あいおいニッセイ同和損保
市場環境の前提	(参考)14年9月末 日経平均 16,173.52円 原則、2014年9月末水準を想定 米ドル 109.45円 ユーロ 138.87円	
当年度発生国内自然災害	230億円 ※14年台風18号・19号は織込済み	150億円
大雪(2014年2月発生) 正味支払保険金	379億円	257億円
タイ洪水(2011年度発生) 正味支払保険金	115億円	6億円
異常危険準備金 繰入率	9.0%	8.0%
(火災保険) 追加繰入額	200億円	100億円
価格変動準備金 追加繰入額	300億円	200億円
期末残高	535億円	248億円
特別損益(機能別再編に係る移行対価)	18億円	248億円
法人税率(実効税率)	30.7%	※法人税率引下げは織り込んでいない

※1 機能別再編に係る移行対価は、グループの内部取引であり、連結消去によりグループの連結業績には影響しない。  
 ※2 上記以外に、三井住友海上プライマリー生命について、価格変動準備金の追加繰入60億円を見込む。

## 資料23 三井住友海上(単体) 2014年度業績予想 ①

2014年度業績予想  
(2014.11.19 発表)内容

(億円)

	2013年度	2014年度 (年初予想)	2014年度(予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	13,845	14,330	14,420	574	90
正味収入保険料 増収率	5.3%	3.5%	4.2%	△ 1.2pt	0.7pt
正味損害率	65.1%	65.7%	63.8%	△ 1.3pt	△ 1.9pt
正味事業費率	32.0%	32.2%	32.1%	0.1pt	△ 0.1pt
コンバインド・レシオ	97.1%	97.9%	95.9%	△ 1.2pt	△ 2.0pt
インカードロス(除く損害調査費)	8,321	8,138	8,088	△ 232	△ 50
保険引受利益	△ 73	110	60	133	△ 50
ネット利息及び配当金収入	709	611	670	△ 39	59
有価証券売却損益	548	187	691	142	504
有価証券評価損	△ 33	△ 30	△ 61	△ 27	△ 31
資産運用損益	1,251	738	1,292	40	554
経常利益	1,019	790	1,300	280	510
特別損益	△ 174	17	△ 288	△ 113	△ 304
当期純利益	580	620	780	199	160
〈除く家計地震・自賠責〉					
正味収入保険料 増収率	4.7%	3.4%	4.3%	△ 0.4pt	0.9pt
正味損害率	62.2%	63.3%	61.1%	△ 1.1pt	△ 2.2pt
正味事業費率	34.1%	34.4%	34.2%	0.1pt	△ 0.2pt
コンバインド・レシオ	96.3%	97.7%	95.3%	△ 1.0pt	△ 2.4pt

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## 資料24 三井住友海上（単体）2014年度業績予想 ②

2014年度業績予想  
(2014.11.19 発表)内容

正味収入保険料		(億円)	
	2013年度	2014年度(予想)	
			増収率
火災	2,122	2,217	4.4%
海上	567	633	11.6%
傷害	1,446	1,486	2.7%
自動車	6,083	6,266	3.0%
自賠償	1,734	1,791	3.2%
その他	1,889	2,027	7.2%
合計	13,845	14,420	4.2%
除く家計地震・自賠償	12,103	12,621	4.3%

※ 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

正味損害率		(億円)	
	2013年度	2014年度(予想)	
			前期比
火災	70.9%	72.3%	1.4pt
海上	59.6%	50.4%	△ 9.2pt
傷害	60.4%	59.1%	△ 1.3pt
自動車	63.5%	62.2%	△ 1.3pt
自賠償	85.4%	83.2%	△ 2.2pt
その他	50.2%	49.6%	△ 0.6pt
合計	65.1%	63.8%	△ 1.3pt
除く家計地震・自賠償	62.2%	61.1%	△ 1.1pt

インカードロス		(億円)	
	2013年度	2014年度(予想)	
			前期比
インカードロス(除く損害調査費) <sup>※1</sup>	8,321	8,088	△ 232
自然災害 <sup>※2</sup>	469	246	△ 223
自然災害以外	7,851	7,842	△ 9

※1 インカードロス=正味支払保険金+支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水をいう。

「自然災害」には、タイ洪水のインカードロス(2013年度 △203億円、2014年度 0億円)、2014年2月発生の大雪に伴うインカードロス(2013年度 454億円、2014年度 16億円)を含む。

## 資料25 あいおいニッセイ同和損保（単体）2014年度業績予想 ①

2014年度業績予想  
(2014.11.19 発表)内容

(億円)

	2013年度	2014年度 (年初予想)	2014年度(予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	11,446	11,560	11,560	113	-
正味収入保険料 増収率	3.8%	1.0%	1.0%	△ 2.8pt	-
正味損害率	65.0%	66.7%	65.4%	0.4pt	△ 1.3pt
正味事業費率	34.5%	35.8%	35.4%	0.9pt	△ 0.4pt
コンバインド・レシオ	99.5%	102.5%	100.8%	1.3pt	△ 1.7pt
インカードロス(除く損害調査費)	7,289	6,988	6,849	△ 440	△ 139
保険引受利益	△ 288	100	180	468	80
ネット利息及び配当金収入	459	313	345	△ 114	32
有価証券売却損益	195	29	133	△ 62	104
有価証券評価損	△ 36	△ 50	△ 50	△ 13	-
資産運用損益	530	170	346	△ 184	176
経常利益	278	270	530	251	260
特別損益	△ 56	210	8	64	△ 202
当期純利益	131	340	390	258	50
<除く家計地震・自賠償>					
正味収入保険料 増収率	3.2%	0.8%	0.9%	△ 2.3pt	0.1pt
正味損害率	62.0%	64.4%	62.8%	0.8pt	△ 1.6pt
正味事業費率	36.5%	38.1%	37.6%	1.1pt	△ 0.5pt
コンバインド・レシオ	98.5%	102.5%	100.4%	1.9pt	△ 2.1pt



## 資料26 あいおいニッセイ同和損保(単体) 2014年度業績予想 ②

2014年度業績予想  
(2014.11.19 発表)内容

正味収入保険料		(億円)	
	2013年度	2014年度(予想)	
			増収率
火災	1,357	1,361	0.3%
海上	112	74	△34.1%
傷害	726	711	△2.1%
自動車	6,589	6,702	1.7%
自賠償	1,642	1,666	1.4%
その他	1,017	1,046	2.8%
合計	11,446	11,560	1.0%
除く家計地震・自賠償	9,798	9,889	0.9%

正味損害率			
	2013年度	2014年度(予想)	
			前期比
火災	64.8%	74.4%	9.6pt
海上	52.4%	58.1%	5.7pt
傷害	50.3%	48.9%	△1.4pt
自動車	63.2%	62.2%	△1.0pt
自賠償	83.0%	81.6%	△1.4pt
その他	59.3%	60.6%	1.3pt
合計	65.0%	65.4%	0.4pt
除く家計地震・自賠償	62.0%	62.8%	0.8pt

インカードロス		(億円)	
	2013年度	2014年度(予想)	
			前期比
インカードロス(除く損害調査費) <sup>※1</sup>	7,289	6,849	△440
自然災害 <sup>※2</sup>	493	156	△336
自然災害以外	6,796	6,692	△104

※1 インカードロス=正味支払保険金+支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水をいう。

「自然災害」には、タイ洪水のインカードロス(2013年度 △26億円、2014年度 △1億円)、2014年2月発生の大雪に伴うインカードロス(2013年度 367億円、2014年度 8億円)を含む。

## 資料27 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合算)

2014年度業績予想  
(2014.11.19 発表)内容

(億円)

	2012年度	2013年度		2014年度(予想)	
			前期比		前期比
正味収入保険料	24,174	25,291	1,116	25,980	688
正味保険料 増収率	3.1%	4.6%	1.5pt	2.7%	△1.9pt
正味損害率	72.0%	65.0%	△7.0pt	64.5%	△0.5pt
正味事業費率	33.2%	33.2%	0.0pt	33.6%	0.4pt
コンバインド・レシオ	105.2%	98.2%	△7.0pt	98.1%	△0.1pt
インカードロス(除く損害調査費)	15,501	15,611	109	14,937	△673
保険引受利益	△30	△361	△331	240	601
ネット利息及び配当金収入	980	1,168	188	1,015	△153
有価証券売却損益	604	743	139	824	80
有価証券評価損	△381	△70	311	△111	△41
資産運用損益	1,022	1,781	759	1,638	△143
経常利益	912	1,298	386	1,830	531
特別損益	△39	△231	△191	△280	△48
当期純利益	615	711	96	1,170	458
＜除く家計地震・自賠償＞					
正味保険料 増収率	2.8%	4.0%	1.2pt	2.8%	△1.2pt
正味損害率	69.1%	62.1%	△7.0pt	61.8%	△0.3pt
正味事業費率	34.8%	35.2%	0.4pt	35.7%	0.5pt
コンバインド・レシオ	103.9%	97.3%	△6.6pt	97.5%	0.2pt

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

## 正味収入保険料 (億円)

	2012年度	2013年度		2014年度(予想)	
			増収率		増収率
火災	3,142	3,480	10.7%	3,578	2.8%
海上	633	679	7.3%	707	4.1%
傷害	2,149	2,173	1.1%	2,197	1.1%
自動車	12,354	12,672	2.6%	12,968	2.3%
自賠償	3,100	3,377	8.9%	3,457	2.4%
その他	2,794	2,907	4.1%	3,073	5.7%
合計	24,174	25,291	4.6%	25,980	2.7%
除く家計地震・自賠償	21,056	21,901	4.0%	22,510	2.8%

## 正味損害率

	2012年度	2013年度		2014年度(予想)	
			前期比		前期比
火災	96.7%	68.5%	△28.2pt	73.1%	4.6pt
海上	51.7%	58.4%	6.7pt	51.2%	△7.2pt
傷害	56.8%	57.0%	0.2pt	55.8%	△1.2pt
自動車	67.9%	63.4%	△4.5pt	62.2%	△1.2pt
自賠償	92.4%	84.2%	△8.2pt	82.4%	△1.8pt
その他	56.3%	53.4%	△2.9pt	53.4%	0.0pt
合計	72.0%	65.0%	△7.0pt	64.5%	△0.5pt
除く家計地震・自賠償	69.1%	62.1%	△7.0pt	61.8%	△0.3pt

## インカードロス

(億円)

	2012年度	2013年度		2014年度(予想)	
			前期比		前期比
インカードロス(除く損害調査費) <sup>※1</sup>	15,501	15,611	109	14,937	△673
自然災害 <sup>※2</sup>	538	963	425	402	△560
自然災害以外	14,962	14,647	△315	14,534	△113

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害、大雪(2014年2月発生)およびタイ洪水をいう。

「自然災害」には、タイ洪水のインカードロス(2012年度 6億円、2013年度 △230億円、2014年度 △1億円)、2014年2月発生の大雪に伴うインカードロス(2013年度 821億円、2014年度 24億円)を含む。

## 「グループコア利益」の定義

グループコア利益 = 連結当期利益 - 株式キャピタル損益(売却損益等) - クレジットデリバティブ評価損益 - その他特殊要因  
+ 非連結グループ会社持分利益

グループROE = グループコア利益 ÷ 連結純資産(期初・期末平均、除く少数株主持分)

## 予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS&ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

## お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社  
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

e-mail: ms\_ad\_ir@ms-ad-hd.com

URL: <http://www.ms-ad-hd.com>